

防振架台 工事説明書

型式名 B K - 4 5 0 0、B K - 6 5 0 0

表示について（表示の意味は次のようになっています）

注意 作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者等が、
傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

0 M 9 0 3 3

注意 工事される方へのお願い

この防振架台は、適用機器に使用してください。
機器を安全に正しくご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになり正しく施工してください。

1 同梱部品の確認

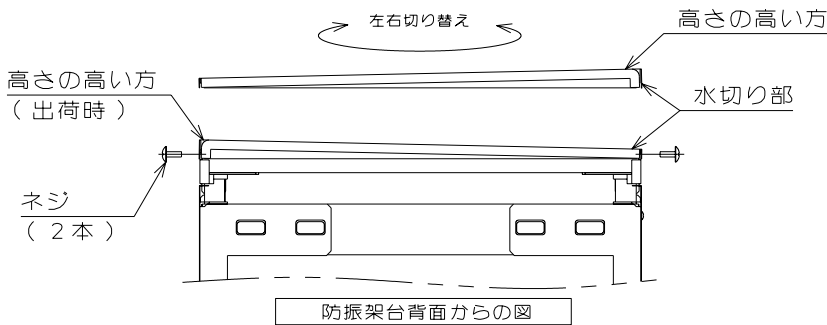
梱包の中には下記部品が入っています。取り付け前に確認をしてください。

品 番	品 名	個 数	品 番	品 名	個 数
①	防振架台本体	1	⑤	チューブ	2
②	ネジ(トラスM4×10)	2	⑥	ゴムワッシャー	4
③	工事説明書(本書)	1	⑦	平ワッシャー(大)	2
④	転倒防止金具	1	⑧	M6ナット	4

2 設置前の注意

- 防振架台の設置前に、水切り部の勾配の方向を必要に応じて切り替えてください。

- 手順①水切り部のネジ(2本)を取り外します。
②架台の設置状態に合わせて水切り部の方向を変更します。
※架台側面に壁が近接する場合は、高さの高い方を壁側へ向ける様に取り付けてください。
③先ほど外したネジ(2本)で取り付けてください。

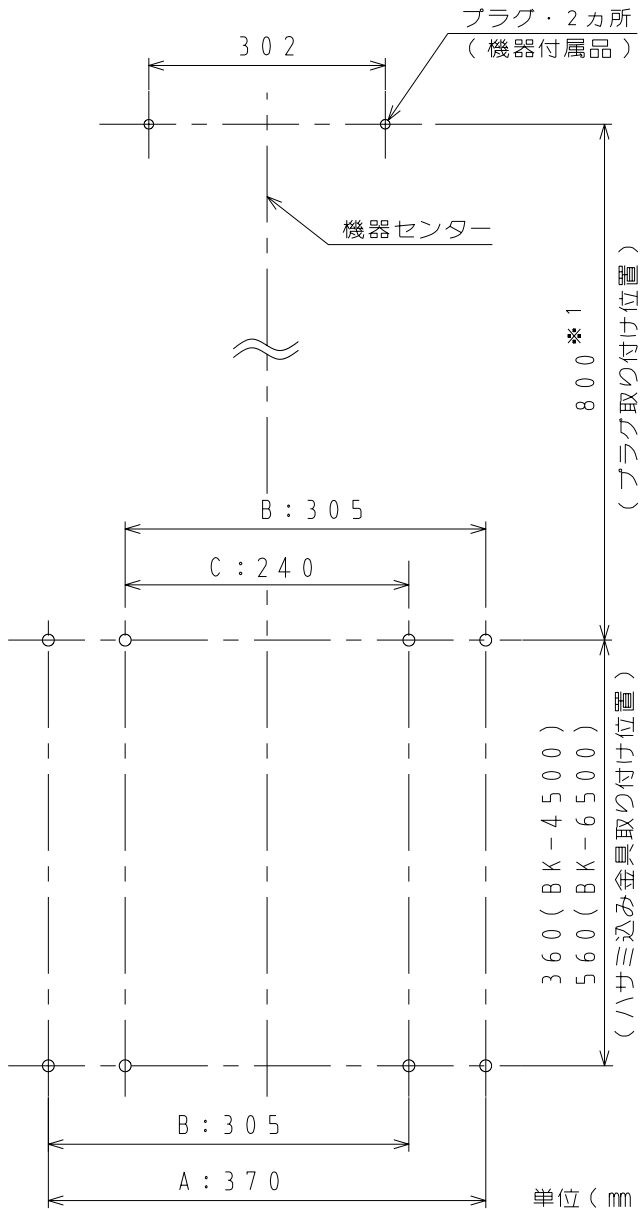


- 防振架台を設置してから、機器本体を取り付けてください。

3 固定用ボルト位置

- ※ハサミ込み金具(現地調達、ボルト部サイズM10)とプラグ(機器付属品)が、右図の様に配置されていることを確認してください。
- ※ハサミ込み金具取り付け位置は、BK-4500とBK-6500では寸法が異なります。(右図参照)

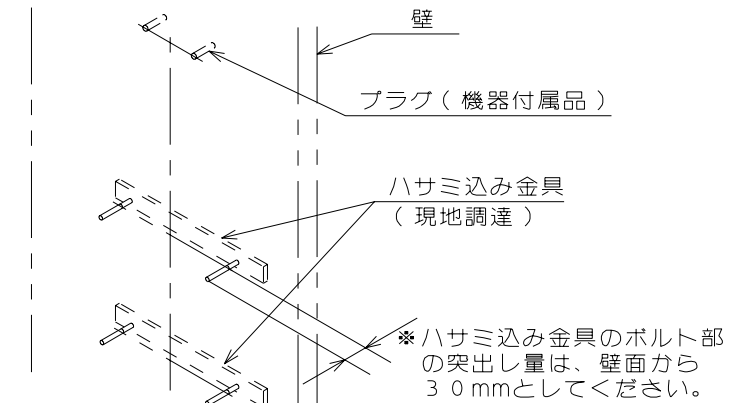
- ハサミ込み金具用の穴あけは、補修・防水処理を考慮した寸法(穴径2.5mm以下)で穴あけをしてください。
- ハサミ込み金具は右図の寸法位置以外で取り付けをしないでください。正しい設置が出来ない場合があります。
 - A: 370mm(標準取り付け寸法)
 - B: 305mm(左右オフセット取り付け)
 - C: 240mm(内-内取り付け寸法)
- プラグ(機器付属品)の取り付け位置(※1)は、設置機器の質量により防振ゴムが圧縮されて高さが変わるので、④の転倒防止金具の長穴にて調整できる範囲にプラグ(機器付属品)を取り付けてください。
(プラグ(機器付属品)の下穴は、φ6×4.0mm以上)



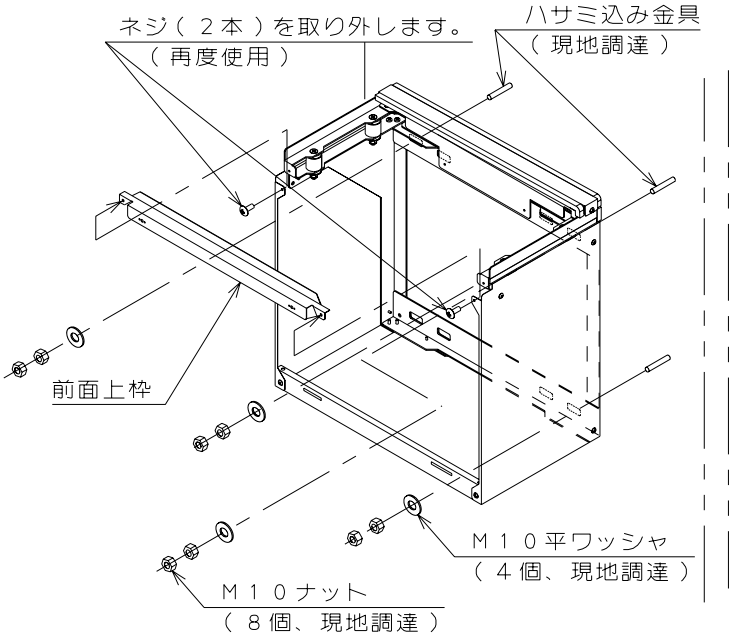
4

施工順序

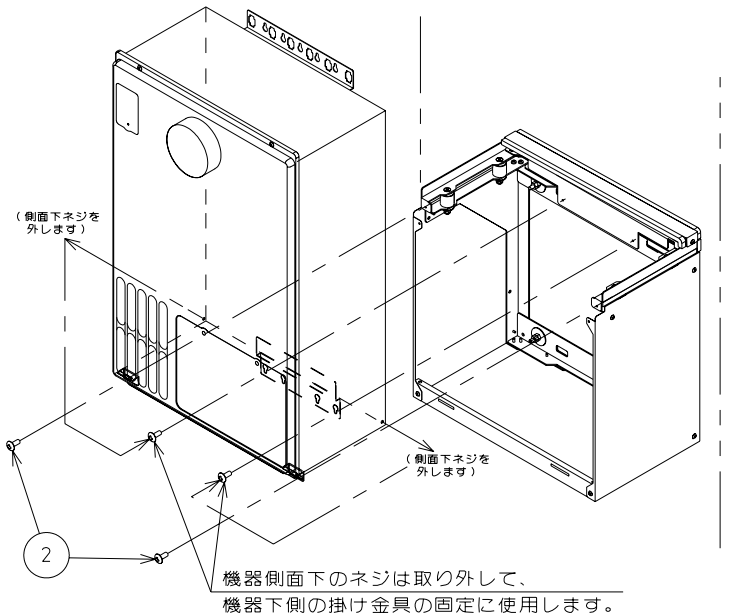
- ハサミ込み金具(現地調達)とプラグ(機器付属品)が壁に取り付けられていることを確認します。(③参照)



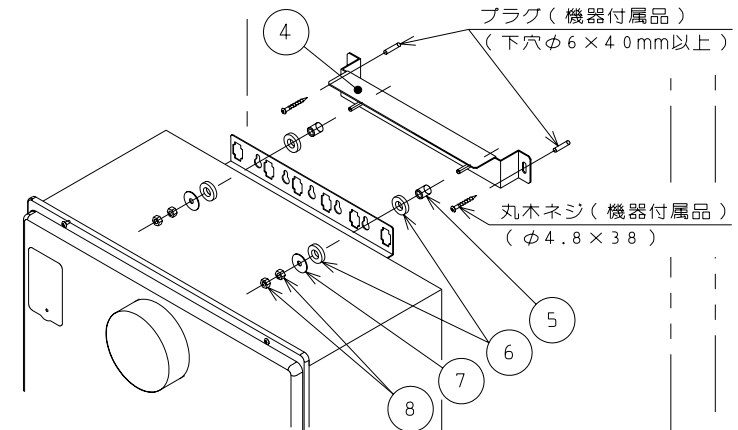
- 防振架台のフロントカバーを外します。
- 組み付いている前面上枠を外し(ネジ2本)、防振架台をM10ナット(ダブルナット×4箇所=8個、現地調達)とM10平ワッシャー(4個、現地調達)で壁に取り付けます。



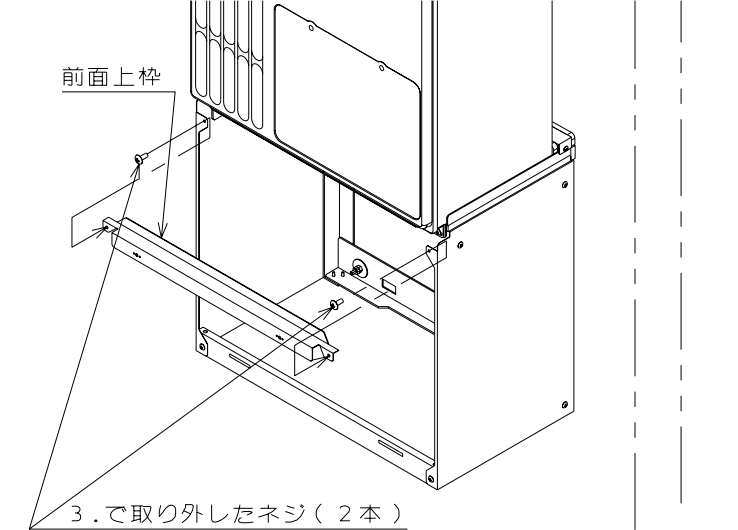
- まず機器側面下のネジを2本取り外します。(再度使用します。)機器を正面より架台に載せて、②(2本)と、機器側面下から取り外したネジ(2本)で図の様に固定してください。



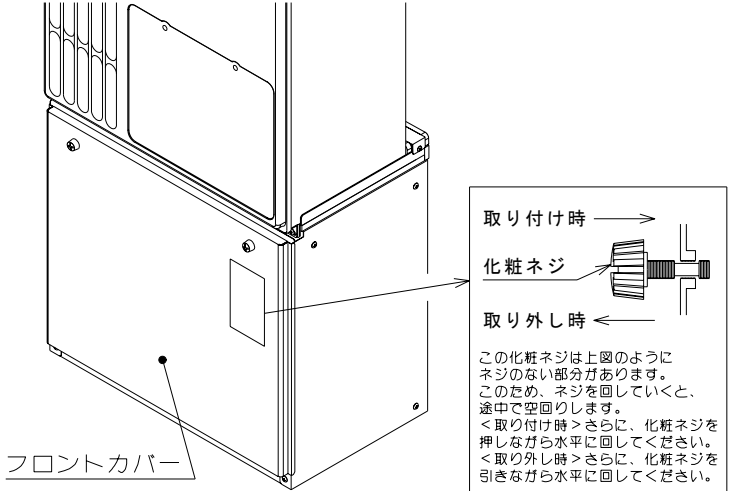
- ④のボルトに⑤(2個)と⑥(2個)を差し込み、下図に示すように壁側から機器の掛け金具へ差し込みます。
④を丸木ネジ(機器付属品・2本)で壁に固定します。
⑥(2個)、⑦(2個)を④のボルトへ通し、⑧(ダブルナット×2箇所=4個)で機器を④へ固定します。
ナットの締め込み目安は、⑥が⑦より1mmはみ出すまで締め込みます。



3. で取り外した前面上枠を元の場所へ取り付けてください。



1. で取り外したフロントカバーを元の場所へ取り付けてください。



注意 安全上の注意

防振架台のフロントカバーをしっかりと閉め、がたつきの無いことを確認してください。下部差込箇所が外れていないことを確認した上で、化粧ネジを工具、コイン等を使用してしっかりと締めてください。

製造元

パーパス株式会社

〒417-8505
静岡県富士市西柏原新田201